

2021年度 札幌市立大学大学院 連携プロジェクト演習 公開成果発表会プログラム

日時：2021年11月6日（土）14：50～16：00

方法：Microsoft Teamsにて実施

1 開会 14:50 デザイン研究科長 石井 雅博

2 グループの成果発表

プレゼンテーション20分+質疑応答10分=30分間

発表番号	予定時刻	テーマ/発表概要		グループ構成員
1	14:55 ∩ 15:25	【テーマ】	終末期患者と家族のつながりを支援する新たなお見舞いコミュニケーションの提案	デザイン研究科博士前期課程1年 王子喬 高倩雅 木村はるな 高玥瑤 指導教員 荒木教授 佐藤教授 石井教授 横溝准教授
		【発表概要】	「お見舞い」というものは、人との繋がりを感じさせてくれる。その中で終末期患者とその家族の間で行われるお見舞いは、想いを伝え合い、自分を想ってくれる人の繋がりを支援することが必要なのではないかと考えた。本研究の目的は、終末期患者とその家族の間で行われるお見舞いについて、現状の課題や自身の体験・ヒアリングを通して問いを見つけ、終末期における病院でのお見舞いを、より良いものにする新たな方法を提案することである。そこで、文献調査・看護師へのヒアリングを行い、それらの結果からデザイン要件を決定し、お見舞いでのコミュニケーションをサポートする製品のプロトタイプを制作し、成果を発表する。	
2	15:25 ∩ 15:55	【テーマ】	次世代の健康意識を醸成するアプリの提案	看護学研究科博士前期課程1年 高橋葉子
		【発表概要】	社会の中で病院は、病気を「治してもらおうところ」という認識であり、私たちは自らの健康に対して受け身の姿勢で社会の中で暮らしているのではないだろうか。本研究の目的は、社会の中の病院の立ち位置、私たちがどのように病院と関わっているのかを明らかにすることを通して、その中にある問いを見つけ、社会と病院の次なるかたちを模索・創造することである。そこで札幌市在住の20～30歳代を対象にした健康の認識と健康のための行動に関するアンケートを行った。それらの結果を反映させた健康管理アプリのプロトタイプを制作し、その結果について発表する。	デザイン研究科博士前期課程1年 佐藤あみか 樋口涼佳子 三河侑矢 指導教員 神島准教授 金子准教授 矢久保助教

3 講評 15：55 看護学研究科長 菊地 ひろみ

4 閉会 16：00